

放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成 31年 3月 20日

事業所名:輝HIKARI志木

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		埼玉県の指定「1人あたり2.47㎡」をクリアしており指導訓練室の広さは適切だと思います。	個室が少ないため、お子様が不安になった時には、ゆっくり過ごせる空間を提供できるように配慮します。
	2 職員の配置数は適切であるか	○		国で決められた人員配置「児童指導員2名」を満たしております。	児童発達支援管理責任者の他に児童指導員4名配置しておりますが、今後も有資格者の雇用を進めていきます。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○	歩行時、不安定なお子様には、職員を一人配置しております。	今後、事業所内のバリアフリー化について、検討し配慮していきます。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		毎日、児童受け入れ前に朝礼を行い情報共有を行っています。	事業所会議を月に1度行いPDCAサイクルを振り返っております。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		頂いたご意見を参考に施設会議を行っています。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		ホームページ等にて公開致します。	集計結果は保護者にお送りさせて頂きます。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	現在は行っていません。	
8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		法人内及び事業所内研修を行っています。	日々の支援に直結するような法人研修は年2回程度行っております。	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		事業所目線にならないような計画を意識しております。	「現在の事業所で行える支援」を軸に計画を行っております。
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○	法人内で統一されたアセスメントシートを使用し複数の職員の見立てを反映させています。	国の助言にあるヴァインランド2の様なおアセスメントツールは利用しておりませんが、今後導入を検討します。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		都度、職員で話し合いを行い決めていきます。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		新たな制作活動を取り入れています。	お子様の状態に合わせて固定化しないようにしていきます。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○		療育的プログラムと社会体験プログラムを軸に考えております。	今後も、更に細やかな支援ができるよう努力致します。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		お子様の状態・状況に合わせた活動を行い日々のプログラムを構成しております。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		当日出勤している全職員が参加しミーティングを行っています。	今後も引き続き、行っていきます。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		記録やミーティング、申し送りを通し情報共有を行っています。	職員により、退社時間が違うため、当日の支援終了後に振り返りは、できていません。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		日々の記録は個別に書面化しております。	正しく記録を取る事ができるよう支援記録向上を目指していきます。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		6ヶ月に1度見直しております。	計画から3ヶ月のモニタリングもしっかり行っていく。
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○		行っている。	

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		基本的に児童発達支援管理責任者が参加する。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		行っている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		現在、医療ケア児童の受け入れは、体制が整わず行っていません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		担当者会議に参加し相互理解に努めています。	今後も、引き続き情報共有ができるようにしていきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		必要に応じて、支援経過記録を提供しています。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		困難ケースで助言を頂く事がある。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	現在、予定していない。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○		志木市自立支援協議会くらし部会に参加しています。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		送迎時等、その日にあった事など、伝えるように努力しています。	送迎中ですとあまり時間が取れないのが悩みである。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	必要に応じて、助言をさせて頂く事はあります。		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		ご契約時に、説明をさせて頂いています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		面談時に、ご家庭内でのお子様の様子など聞き、必要に応じて助言をさせて頂く時もあります。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	保護者会などは、行っていません。	今後も予定はありません。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		体制は整備されており、苦情の際には丁寧に説明させて頂く所存です。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		事業所通信やブログ、ラインアットを使い活動内容を発信しています。	今後はもっと短いサイクルで会報を出していきます。
	35	個人情報に十分注意しているか	○		鍵付き書庫に保管しています。	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		連絡帳を利用している。	今後は、細かな情報伝達ができるよう配慮していきます。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		地域の文化活動団体に来訪して頂き、お雛子を見学しました。	

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		ガイドラインとして、保護者様に配布しております。	
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		定期的に、防災訓練を行っています。	
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		定期的に、虐待防止・権利擁護研修を事業所内で行っています。	
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○		現在、身体拘束が必要とされるお子様はいません。
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○	保護者様からの情報を元に食物アレルギーが、あるお子様については、対応をしております。	
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハット記録を残している。	今後、事例集などを作成し事業所内研修などで活用していけるよう努力致します。